

平成23年度予算に対する 各会派の意見表明・討論

平成23年度一般会計ほか、5特別会計予算を審査するため、今定例会初日に議長を除く全議員により、予算特別委員会(委員長 藤井たかし、副委員長 すがた誠)を設置し、14日間にわたり慎重かつ厳正な審査を行いました。
各会派から出された意見表明・討論の要旨は、次のとおりです。

着実な発展を目指し区民のさらなる幸せを！ 練馬区議会自由民主党(14人)

このたびの大震災の犠牲となられた多くの国民の皆様、心から哀悼の意を表します。復興に向け、練馬区議会自由民主党として全力を傾注することを誓います。

【都区財調・財政計画】①国の急激な制度改正は地方自治体にとって大きな影響が懸念される。国に対し主張を。②減税構想が喧伝されているが、子や孫へツケを回す目先の減税より、一層の行政改革を推し進めて区民生活に直結した行政運営を。③外環道の着工のため、決断を促す基金積立などの態度を。

【議会費・総務費】①災害時要援護者を対象とした安否確認の対策は、さらなる努力を。②区内の防災計画の充実を。③避難拠点に省エネLED投光機の設置を。④災害時の医療救護所は、医師会等と連携を。⑤医療救護所備蓄の医薬品は無駄のないように。⑥無断張りポスターに対し、「無断張り禁止」ステッカーを作

製し、区民に配布を。【区民費・産業地域振興費】①国民健康保険事業には今後民間委託の推進を。②国保料は費用対効果のある徴収の実現に、収納の一元化を。③買い物支援事業は、周知に努める確な取り組みを。④全町会・自治会がホームページを作成できるように指導・支援を。⑤地区区民館、地域集会所に通信カラオケの配備を。【保健福祉費】①救急情報キットの配布に際し、丁寧な周知を。②「高齢者緊急医療シヨートステイ事業」の充実を。③障害児の就学前の子どものための幼児教室を行う事業者に、法内化に向けた支援を。④子宮頸がん予防ワクチンは適切な周知を。⑤前立腺がんの受診率が低いので今以上に啓発を。⑥特定不妊治療助成制度は、融資あっせん制度の検討を。⑦早期に順天堂練馬病院の病床数を増床するように努力を。⑧急性期から回復期リハビリあるいは医療病床を急

ぎ整備を。⑨病後児施設から病児施設への移行については、万全を。⑩生活保護費が31億円予算に計上された。縮減に取り組み、制度自体を改正するよう国に対し要望を。

【児童青少年費・環境費】①待機児童の解消に必要な努力を。②区内に「こどもの森」の設置へ努力を。③学童クラブの民間委託の推進を。④児童養護施設に対する支援を。⑤「子ども手当」は財源確保がままならない。政策転換を図るよう行動を。⑥紙パックの回収事業開始にあたっては区民への周知を。⑦練馬清掃工場建て替え工事にあたっては、近隣への配慮を。⑧憩いの森等、緑地の相続が発生した場合、区が購入を。

【都市整備費・土木費】①貫井富士見台地区密集住宅市街地整備促進事業は、早期実現に努力を。②大泉学園駅周辺まちづくりは、交通混雑の解消と商業活力の対応に取り組む。③東映アニメーションへのアクセス道路をアニメ軸

としてにぎわいのあるものに。④大泉学園北口再開発の公益施設には図書館機能を。⑤大江戸線建設基金を生かしたまちづくりに全庁あげて取り組みを。⑥大江戸線の需要拡大の観点から、新病院建設の計画の早期実現を。⑦江古田駅周辺まちづくりの推進を。⑧田柄川幹線流域の浸水被害対策を。⑨田柄川緑道の早期着工に努力を。⑩地籍調査事業の進捗に努力を。⑪地産地消の推進を。⑫練馬区農業振興計画の実行に取り組みを。

【教育費】①ねりま光丘ロードレースが23年度30回記念大会となる。また観光振興の観点からも練馬区内の名所をめぐることが出来るマラソン大会となるよう取り組みを。②学校選択制度は「特色づくり」が難しいことが、検証されている。さらなる取り組みを。③土曜日授業の復活は評価するが、授業時間が確保されるのであれば、2学期制と夏休みのある方について再検討を。④教育委員は、国家意識をしっかりと持った中で子供たちの教育行政に取り組む。⑤全国学力テストについては、練馬区は参加と結果の公表を。⑥練馬区立美術館に隣接した公園の利用も早期に検討を。

区民の生命と生活をまもる区政に 練馬区議会公明党(12人)

平成23年度練馬区一般会計予算ならびに5特別会計予算に賛成する。公明党が要望してきた、保育所持機児童の解消対策として600人の定員増と病児保育事業の開始。ヒブワクチン接種の全額助成と各種予防接種の導入、新総合病院の建設・誘致、救急情報キッ

トの配布、みどりのチャレンジ事業、園芸土リサイクル事業、希少金属資源の回収事業、ゲリラ豪雨対策の実施など新たな事業を予算化したことを高く評価する。

【都区財調・財政計画】①新たな特定財源の確保を。②子ども手当は全額国庫負担

で。③施設の改修改築の見直しと持続可能な財政運営を。④公会計制度で無駄の削減を。【議会費・総務費】①議会改革と議会の見える化を。②練馬駐屯地西側万年堀の改修を。③消防団分団本部施設用地と練習場所の確保を。④溢水時の携帯電話からの雨量・水位情報を。⑤期日前投票所の増設と告示日実施を。

【区民費・産業地域振興費】①買い物支援策は商店街活性化と福祉の観点からも実施を。②「練馬農の学校」は区内外から人材育成を。③野菜餃子プロジェクトの継続を。④練馬武蔵野うどん、金子ゴールデンビールをブランド化し全国に発信を。⑤道の駅設置で農産物の販売促進を。

【保健福祉費】①高次脳機能障害等の中途障害者相談窓口やリハビリ設備を。②子宮頸がん予防ワクチンと各種予防接種助成の対象年齢拡大を。③ヒブワクチン接種助成の拡充を。④救急情報キットのシールと救急情報バスの増車を。⑤発達障害の支援とネットワーキ化を。⑦新病院の建設・誘致を。

【児童青少年費・環境費】①保育所の定員増と保育士等の雇用増を。②私立保育園に気になる子への専門家の巡回指導を。③廃食用油精製過程を環境学習に。④希少金属類の回収所の拡大と出張回収を。⑤立体型防鳥ネットの使用や

管理方法の徹底を。⑥園芸土のリサイクル事業の推進を。⑦みどりのカーテンチャレンジ事業とみどりの回廊推進を。【都市整備費・土木費】①みどりバス大泉ルートを増便と保谷ルートの新路線開設、小型バスを大型に。②誘導容積型地区計画の活用で権利者の生活再建を。③耐震改修の簡易補強工事の助成拡大と条件緩和を。④放射7号線に自転車走行レーンの設置と緑の回廊を。⑤区道67号線の整備と歩道にベンチや自転車レーンを。⑥貫井・富士見台地区のまちづくりは、住民の理解で公園の整備や空地の確保を。

【教育費】①教育の情報化で児童との時間の確保を。②教員の心の健康管理を。③城北中央公園内の栗原遺跡を社会科見学に。④学校図書館支援業務の電算化と人的配慮を。⑤総合体育館の土依の整備や鉄砲柱の補強、温水プールの新設を。⑥少年自然の家宿泊料金とバス代をセットで利用率アップを。

【一般会計歳入・各特別会計】①医療保険政策の包括補助金の上限変更の改善を。②日本銀行石神井運動場と都立石神井公園との一体化で少年野球やサッカーを可能に。③日銀の駐車場を透水性舗装で整備を。④貫井・富士見台地区のまちづくりは社会資本整備総合交付金で期間が5年間となるが工事期間の更なる延伸を。

【開発優先から暮らし優先の区政に転換を！
日本共産党練馬区議団(6人)】
一般会計と国保、介護保険、後期高齢者医療の4会計予算差が広がるもとで、特養ホーム整備予算ゼロなど、自治体本



4月に開校した練馬区初の小中一貫教育校 大泉桜学園(大泉学園町9-2-1)

来役割である区民生活防衛を全くおさげりにしている。第二に、住民こそ主人公の住民自治を否定し、行政決定を押しつける予算である。第三に、職員削減と委託・民営化により、行政サービス水準の低下と官製ワーキングプアが拡がっている。第四に、練馬駅北口や大泉学園駅北口など大型開発最優先の財政運営になっている。第五に、国保料金の大幅引き上げ、介護保険、後期高齢者医療でも国・都の言いなりで住民負担を強めている。わが党提案の予算組み替えを再開せよ。⑦国保の資格証発行をやめ、正規の保険証を発行するとともに、料金引き下げを。⑧区内病床増を図るため都に対して医療圏と基準病床数の見直しを求めよ。⑨

